慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	受□書主要文献目錄 (昭和三一年四月分)
Sub Title	Books received
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1956
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.29, No.7 (1956. 7) ,p.76- 79
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19560715-0076

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

受贈書主要文献目錄

（昭和三一年四月分）

はしがき

最近、當法學研究會（または法學部研究室）宛に寄贈される書籍および雜誌は、かなり多數に上り、われわれの研究に多大の便宜があたえられていることは、まことに感謝にたえないしだいである。そこで、今後本欄に、受贈書を明記して、御寄贈下さつた各位に對し、感謝の意を表するとともに、受贈書の主なる内容をも掲載して、同學の便宜を圖ることとした。

凡例

一、掲載は、和書および中國書・洋書に大別し、それぞれ單行書・雜誌ごとに到着順による。但し、週刊・旬刊のごときものは、適宜にまとめておいた。

二、内容欄目は、頁數の都合上、原則として、單行書は目次の程度に、また雜誌は主要な論説資料のみに限定する。

三、原則として法學、政治學、社會學に關係あるものに限り、全く關係のないものは割愛する。

福浦喜代治
國稅徵收制度の研究
（司法研究報告書九輯一號）　司法研修所

第一章　國稅徵收制度概論
第一章　租稅債務關係、第二納付手續及び强制徵收手續、第三國稅の優先權、第四國稅の優先徵收權に對する例外、第五繰上徵收及び徵收猶豫
第二章　差押及び公賣處分
第一章　前提要件、第二差押、第三公賣
第三章　國稅滯納處分と强制執行並びに任意競賣との關係
第一三制度の異同、第二强制執行と任意競賣との關連、第三交付要求、第四滯納處分中の民事執行、第五不動産强制競賣における國稅先取權の範圍

訴訟法學と實體法學
（中村宗雄教授還暦祝賀論集）　早稲田大學法學會

周禮を中心として見た中國上代の訴訟制度　會田　範治
律令の民事訴訟法　瀧川政次郎
アメリカにおける單一訴訟方式　田中　和夫
裁判所に顯著な事實　小室　直人
爭議差止の假處分　吉川大二郎
訴訟上からみた對抗要件の意義　村松　俊夫
結果の排除を求める請求權　高根義三郎
訴訟と權利の行使　山本戸克己
"訴訟の目的"概念の生成過程　中村　英郎
公訴權理論の一考察　内田　武吉
國際民事訴訟法學の發展とその展望　中村　武
英米法における推定の原則の發展　楠本　英雄
刑事訴訟と憲訴權　齋藤　金作
最高裁判所と憲法第八十一條の違憲的解釋　田畑　忍
國會における證人の特殊性　齋藤　秀夫
司法權獨立の限界　野間　繁
行政法における訓示的規定　有倉　遼吉
民法改正の方向　永田菊四郎
詐害行爲取消權の本質　山中　康雄
婚約の法的把握と慣行および法意識　高梨　公之
老人の扶養をめぐる若干の問題　高野竹三郎
離婚による財産分與の性格　佐々木　宏
商法の傾向と紛爭の非訟化現象

スカンヂナビヤ諸國の海難審判制度　大野　實雄
代理資格の冒用と文書偽造　森　清
多數國間條約に對する留保　江家　義男
自由民權法學の由來　一又　正雄
英法の孤立性について　中村吉三郎
イギリス中世におけるヨーマンリーの代表機能　水田　義雄
　　畑　優

政治經濟論叢（五卷四號）　成蹊大學
大正末期に於ける立憲政友會の變貌　石上　良平
中華人民共和國成立の社會經濟的基礎（一）　神谷　正男

研究集錄（四輯）　大阪大學南北校
契約說の文化的遺産と日本國憲法　落合　勇

資料目錄（三卷一號）　同志社大學研究所資料部

圖書月報（六卷六號）　法務圖書館

法學論叢（六一卷六號）　京都大學法學會
アメリカ行政學の一斷面　長濱　政壽
刑事責任と意思自由に關する理論の歷史的概觀
　—いわゆるブルジョア刑法理論の方法論的本質の理解のために—　中山　研一
イタリアに於ける文藝復興期の政治的意識　濱田　幸策
交戰團體承認についての一考察　林　久茂

松商論叢（三號）　松商學園短期大學
法家・韓非子の法思想（三）　成宮　嘉造

武藏大學論集（三卷二號）　武藏大學學會

彥根論叢（二九號）滋賀大學經濟學會
同（三〇號）
配給原價計算の發達とトラスト禁止法　小倉榮一郎

稅法學（六三號）　日本稅法學會
滯納處分としての超過差押・公賣處分の効力（二）　吉良　實

阪大法學（一六號）　大阪大學
法解釋學と法史學　石本　雅男
賣買における所有權の移轉時期について
　—その一、ローマ法—　石田喜久夫
　　同（一七號）
フランスにおける議員內閣制の成立前史　今井　威
英國民事裁判に於ける陪審制度と證據法に關する一考察　佐々木吉男
　　同（一八號）
訴訟の對象　小野木　常
アメリカにおける違憲立法審査制の史的考察（四）　電通　豐治
農渡擔保の法的性質　濱上　則雄
イギリスにおける刑事裁判と人身の自由（一）
　—その歷史的考察を中心として—　大野　眞義

法學新報（六三卷三號）　中央大學法學會
恩給理論について　高木　三郎
借家の無斷轉貸と民法第六一二條（二・完）　川村　泰啓

法學雜誌（三卷一號）　大阪市立大學
復古後の反動化と抵抗勢力の形成（二）

—ロックの政治思想理解のために—　山崎　時彦
鎌倉時代の人身賣買法制に關する若干の考察　牧　英正
イギリスにおける委任立法（一）　田村　浩一
損害賠償と潜在的・後發的事情の考慮（一）
—ドイツの判例・學説を中心として—　植林　弘

會津短期大學學報（五號）　會津短期大學
聚作罪の死　齋藤　良衛

社會科學紀要（五輯）東京大學教養學部

法と政治（六卷三號）　關西學院大學法政學會
ジョルジュ・ギュルヴィッチの法思想の體系（一）　飛澤　謙一
史的唯物論とその方法としての辨證法的唯物論　田村　德治
「行政階級論」序説　足立　忠夫
法の解釋と適用（一）　一圓　一億
大都市問題解決の方式　山本正太郎
同（四號）
ジョルジュ・ギュルヴィッチの法思想の體系（二）　飛澤　謙一
法の解釋と適用（二）　一圓　一億
同（七卷一號）
サヴィニーの法人理論につ、て（一）　幅地　俊雄
ジョルジュ・ギュルヴィッチの法思想の體系（三）　飛澤　謙一
法の解釋と適用（三）　一圓　一億

法學協會雜誌（七三卷二號）法學協會
法の解釋における制定法の意義
—その一　法と法源—　來栖　三郎

人文學報（一三號、一四號）
東京都立大學人文學會

ソフィア（五卷一號）　上智大學

會報（五六號）　東京株式懇話會

警察學論集（九卷四號）　警察大學校
都道府縣公安委員會の地位　田上　穣治
死刑制度について　古川淺六郎

選擧（九卷四號）　自治廳

勞働研究（九七號、九八號）
兵庫縣勞働研究所

石川勞働時報（一〇〇號）石川縣勞政課

統計月報（七卷三號）大阪證券取引所

調査月報（二四八號、二四九號）
三井銀行

刑政（六七卷三號）　刑務協會
死刑と矯正官の地位　正木　亮

都市問題研究（八卷四號）
都市問題研究會
大都市制度についての新しい基礎　磯村　英一
大都市圏の行政制度　小倉　庫次
メトロポリタン・リージョンの行政形態　吉富　重夫
大都市制度問題の推移　森　光
首都ワシントンの生活圏と公益事業　竹中　龍雄

勞政時報（一三七一號—一三七四號）
勞務行政研究所

勞働法令通信（九卷一二號—一五號）
勞働法令協會

日勞研資料（九卷九號—一一號）
日本勞働研究所

中央勞働時報（二九八號）
勞働委員會速報（三四四號—三四六號）
中勞委會館

裁判所時報（二〇四號、二〇五號）
最高裁判所事務總局

金融法務事情（一〇〇號—一〇二號）
金融財政事情研究會

インヴェストメント（九卷三號）
大阪證券取引所

經濟法律時報（四卷一號）
經濟法律時報社

抵當權法制改正の諸問題　勝本　正晃
所有者抵當制度とその問題點　堀内　仁
根抵當權に關する實務上の基礎知識　小田　豐次

フェビアン研究（七卷四號）
日本フェビアン研究所

政經論叢（四卷四號）
國學院大學政經學會

ロエースレル商法草案における「海上保險法」の構想とその發展（二）　青谷　和夫
壓力團體から政黨組織化への過程（二）
—英國勞働黨成立をめぐる一問題—　中島　昭三
國際連合による安全保障の限界　神谷　龍男

家庭裁判月報（八卷一號）
最高裁判所事務總局

財產分與制度の性格　佐々木　宏
同（二號）
犯罪行動の豫測　佐藤　昌彦
家庭裁判所の綜合的運營について　市村　光一

經營と經濟（三五年二冊）
長崎大學產業經營研究所

法學會論集（六卷）北海道大學法學部

西ドイツにおける經濟統制法（一）金澤　良雄
家事審判について　小山　昇
Use 受益權とその史的性格（一）　菅原　勝伴
封建的土地所有の公權力的性格（二）
—Gewere に關する一試論—　藪　重夫

アメリカーナ（二卷四號）
米國大使館文化交換局

政治學の現狀についての考察　H・モーゲンソウ（譯）久保田きぬ子
勞働とは何か　D・ベル（譯）田中　靖敏

Harvard Law Record
(Vol. 22, No. 1-7)

Harvard Law Review (Vol. 69, No. 5)

Inter Arma Silent Leges: Chief Justice Stone's Views　Alpheus Thomas Mason
Rule 56 (e): A Case Study on the Need for Amending the Federal Rules　Charles Alan Wright